

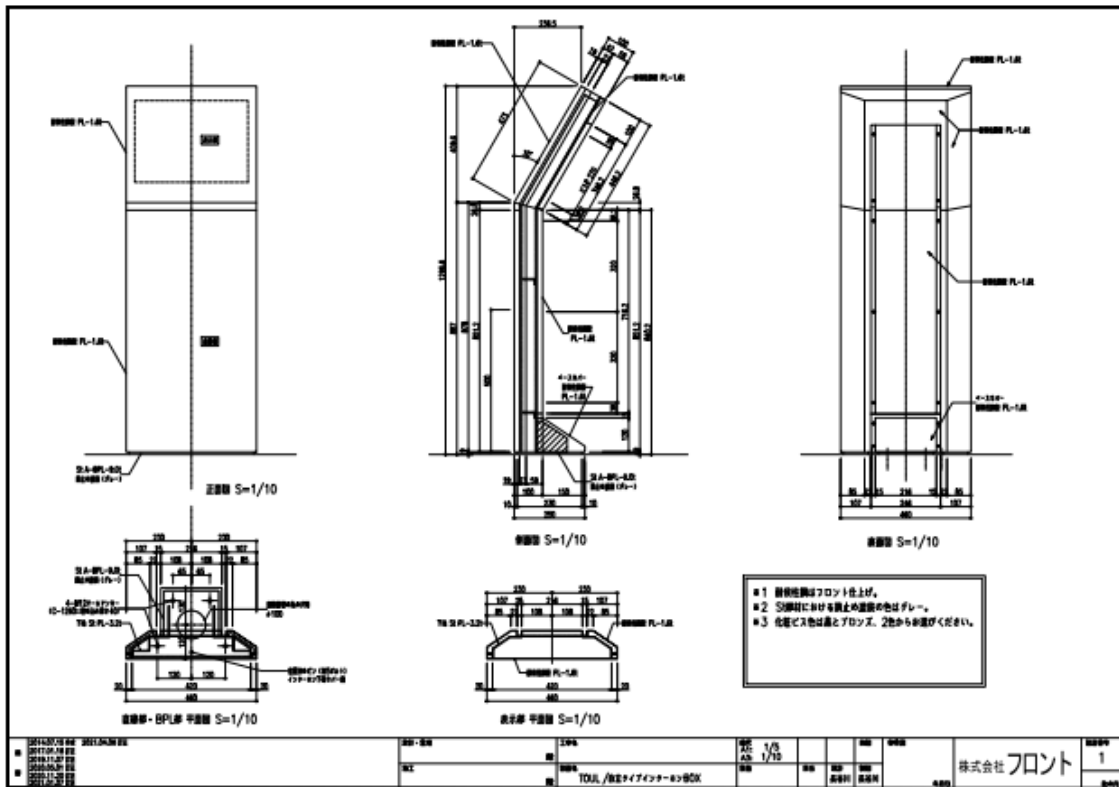
TOUL

自立型集合玄関機

取扱説明書

2022年1月

(株)フロント NAGOMI 事業部



【製品概要】

TOUL はデザイン性、機能性を兼ね備えた
フロントオリジナル集合玄関機です。

特徴

- 1 「TOUL」は耐候性鋼材による集合玄関機です。
- 2 パネル（切板仕様）は、板厚1.6mm。
自立型と壁付け型の2種類を用意しています。
- 3 鋼板化粧材ですので不燃性があります。※不燃認定材ではありません。

耐候性鋼材について

常時水に触れている箇所での使用、また製品に傷がつくと
新たな錆が発生することがあります。

それらの錆は時間が経過すると素材表面で安定錆となり構造を侵食しない為、
そのまま安心してご使用いただけますが、

状態によっては補修対応となる可能性もあります。

補修は有償になります。ご了承下さい。

「耐候性鋼」にフロント独自の仕上げを施した ARTSTEEL

仕上げ色は本製品ページのカラーバリエーションよりお選びください。

TOUL | 集合玄関機 - 株式会社フロント | NAGOMI ARTSTEEL (nagomi-artsteel.com)

下記あらかじめご了承のうえ、お買い求めいただきますようお願い申し上げます。

— 職人が手作業で仕上げをしますので、サンプル(色調・風合い)と実際の商品に差が出ます。

— 色調、風合いは、季節、気象条件によっても差が生じます。

— 曲げ部分はやすりが掛かりにくく、塗装ものりづらい部分になりますので、
どの製品でも色調に差が出てきます。

— (1)自然錆を化粧とした NewRUSTY シリーズは、

1枚ごとに錆の模様や色調が異なり、自然反応のため調整ができません。

— (2)リン酸仕上げの CFC シリーズは、

リン酸反応で現れる模様が、鋼材ごとに形や大きさ、色などが異なり、
自然反応のため調整ができません。

鋼材の表面に粗い目を施す⑥の仕上げや色調が濃い仕上げ色などは、

仕上げの工程上、痕が薄れて目立たなくなることもあります。

パネル表面に残ってしまう恐れがあります。

※表情：自然錆の模様・リン酸反応で現れる模様・バイブレーションの模様など

製品はひとつ一つ手作りのため、サンプルのカラーや風合いが
実際の製品とは異なる場合があります。

【はじめに】

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
製品を末永くご愛用していただくための情報が記されております。

本製品を他の人が使用するときは、この取扱説明書をよく読んでから使用するよう
にご指導ください。

本製品は、屋内専用の製品です。

手作業で仕上げをしているため、模様や色合い等、商品ごとに個体差があります。
そのため、商品として模様や色調に差がありますが、あらかじめご了承ください。

※返品・交換について

例：「イメージと違う」「使用しなくなった」「色を間違えた」など

お客様のご都合による、返品・交換はお受けできません。

また、弊社へ事前連絡なく返送があった場合は、返品・交換の対応はお受けできません。

製品は予告なく改良、変更、廃止、価格改定する場合があります。予めご了承ください。

※本製品の廃棄は、弊社では承っておりません。

各自治体の規則に基づき適切な処理をしてください。

■警告表示の種類と内容

弊社製品を長期間安全にご使用頂けますように、以下のことを必ずお守りください。

△警告：誤った取り扱いにより傷害または製品事故などの損害に結びつくもの

⊘禁止：してはいけないことを示します

①実行：必ずおこなっていただくことを示します

⊗ 設置・保管

本製品は屋内設置の製品です。屋外に保管・設置はしないでください。

製品に不具合が起こる恐れがありますので、次の場所で保管等しないでください。

- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 極端に寒い場所や暑い場所
- ・ 水や雨がかかる場所
- ・ 湿気の多い場所
- ・ 水滴、蒸気、ホコリなどがかかる場所
- ・ 薬品などのガスが発生する場所

① 検品作業

検品は、「商品到着後7日以内」をお願いいたします。

7日以上経過・長期間、未開封のままている場合、

諸条件により、パネルの変形や変色等、製品に不具合が生じる恐れがあります。

△ 商品状態

—商品が破損している場合は、直ちにご使用を中止してください。

—破損、変形した状態では使用しないでください。

製品の強度が弱くなりケガをする恐れがあります。

—修理および改造はしないでください。

製品の強度が弱くなり、ケガをする恐れがあります。

—変形や破損によりケガをする恐れがありますので、

製品に過度な負荷をかけないでください。

—紫外線によって色合いが多少変色する場合があります。

取り付けの際は、必ず施工会社様へ相談頂き、

現場環境に合わせた適切な施工方法を検討の上で取り付けて下さい。

△ 工事箇所について

下地工事、電気配線、インターホン機やノンタッチリーダーなどの電気工事に関しては、担当の施工会社とご相談ください。

誤った施工や取り付け不良、取り付け強度不足、本来の目的以外の利用や、

天災などによる事故等については、一切の責任を負えませんのでご了承ください。

—アンカーが打ち込めない可能性がありますので、

床下地は、コンクリートを推奨いたします。

凸や継ぎ目などの段差のある床面では、使用しないでください。

これ以外で取付けされる場合の事故や製品故障等は、
一切の責任を負えませんのでご了承ください。

必ず施工会社に確認を取った上で作業にあってください。

－設置は、メンテナンスできるよう十分なスペースの確保を推奨します。

－電子機器は、各種メーカー・機種対応可で承っておりますが、
品番により、製作加工，納まり等が異なりますので

必ず発注される前に、機器の品番とメーカー名を弊社までご連絡ください。

機器の品質保持に関しては、一切の責任を負えませんのでご了承ください。

電気配線、インターホン機やノンタッチリーダーなどの電気工事等に関しては、
担当の施工会社とご相談ください。

機器等の故障によるトラブルにつきましては、一切の責任を負えません。

⊗納入後の加工について

製品納入後の穴加工等は、コーティングが剥がれて

加工部から錆が発生する要因となりますので、絶対にしないでください。

万が一、弊社手配外で穴加工等を行った場合、

不具合等については、一切の責任を負えませんのでご了承ください。

【本製品組付けについて】

当製品の施工終了後は他の工事が完了するまでの間、

傷防止のため必ず全体の養生を行ってください。

本製品の養生をする際は、表面剥離の原因となりますので粘着力の強いテープ（ガムテープ等）は使用しないでください。

養生テープを使用してください。

⚠ 養生テープや保護フィルムを剥がすときは、注意して剥がしてください。

傷が付かないように、養生テープや保護フィルムを貼っております。

強く剥がすと表面剥離等、傷が付く原因となりますので、

剥がすときは、注意して剥がしてください。

保護フィルムなどが残っていると、設置面に隙間ができて雨水などが侵入し、機器等が故障する原因となります。

必ず全て剥がしたことを確認してから作業を行ってください。

剥がし忘れによる不具合等については、一切の責任を負えませんのでご了承ください。

－異物が残った場合、機器等が故障する原因となる恐れがありますので、表面を清掃してください。

－機器取り付け作業

電気配線、インターホン機やノンタッチリーダーなどの電気工事に関しては、弊社では対応しておりませんので、電気工事専門業者にご確認ください。

弊社手配は、インターホン機器をパネルに組み付けるための受け下地材のみになります。

－本製品の廃棄は、各自治体の規則に基づき適切な処理をしてください。

－取扱説明書に添付以外の部品や金物などは、お客様手配となります。

手配品は、物件ごとに都度異なります。

📷 納品内容 参考写真・参考イラスト ※物件により製品仕様は異なります



機器関係金具 ※物件ごとに、仕様・手配等は異なります。

・端子盤用金具(参考画像)



・インターホン用金具

画像無し

組付部品 (参考表)

都度手配の為、製作仕様等によりサイズ・個数・ねじ塗装色は変動します。

※部品は、予備分も同梱します

部品	規格	使用箇所
オールアンカー	M12	骨組みフレームの ベースプレート部固定用
十字穴付きサラビス	M4×10	内部と外部フレームの一体型取付け用 裏側パネル
十字穴付きなべビス	M4×10	
ワッシャー	M4	
十字穴付きサラビス	M4×25	正面パネル(頭部 2箇所)
ワッシャーとナット	M5	下部パネル

組付け作業手順

※機器の取り付けは電気業者に確認してください

(1)開梱作業

(2)基礎に製品固定

- ⑥骨組みフレームのベースプレート部を「M12 オールアンカー」でコンクリートに4箇所固定します。

(3)パネルフレーム組付け

- ⑥内部骨組みフレームに、⑦外部フレームパネルを取り付けて右画像のような一体型にしてください。
一体型にしたら、「M4+10 十字穴付きサラビス」でビス留め

骨組みフレームの組立が完了しましたら、以下の手順に従い各パネルの取り付けを行ってください。



⚠ 裏側から先にパネルの取り付けを行ってください。

(4)裏側のパネルは、

④下部パネル → ⑤ベースカバー → ③上部パネルの順
各パネルは「M4 ワッシャー」+「M4×10 十字穴付きなべビス」でビス留め

(5)表側のパネルは、

②下部パネル → ①インターホンパネルの順

⚠️①インターホンパネルを先に取り付けると、下部パネルは付きません。

②は、骨組みフレームのピンにパネルに空けた穴を通し、
「M5 のワッシャーとナット」でパネルを固定します。
※ビスなどはありません



折り返し部分の中央に

丸穴が空いている方が下です。

上下の向きに注意してください。



①は、「M4×25 十字穴付きサラビス」で頭部2箇所をビス留め

(6)製品検査作業

取り付け後は、必ず隙間がないことを確認してください
隙間があると埃や湿気などにより、内蔵している機器が故障する恐れがあります。
機器等の故障によるトラブルにつきましては、一切の責任を負えません。
機器のトラブルは、施工会社または電気工事専門業者へご相談ください。

(7)組付け作業完了

【お手入れ方法について】

製品の素材感を活かした仕上げを長く楽しむため、

半年に1度は表面のホコリや手垢、汚れなどを柔らかい布で軽く払ってください。

硬い布でホコリのあるままでこすると、細かなキズが付いてしまい逆効果です。

通常、柔らかい布の乾拭きで十分です。

・取れにくい汚れに対してはシリコン除去剤などの使用をお勧めします。

【 除去液の参考例：関西ペイント「シリコンオフ」 】

△使用される際は、その使用方法や使用上の注意をご理解の上、
お客様の判断においてご使用ください。

⊗シンナー・ガソリン・有機溶剤などは、

変形・変色する場合がありますので絶対に使用しないでください。

正しく使用されないと変色や変形など異常の原因になります。

・製品または周囲に錆汁が付着した場合は、市販の「錆汁除去剤」で清掃いただけます。

※製品に傷がつくと新たな錆が発生することがありますが、

鋼材の性質上、時間が経過すると素材表面で安定錆に変わり

構造を浸食しないため、そのまま安心してご使用いただけます。

△水に濡れた場合は、長時間放置せずに柔らかい布などで拭き取ってください。

補修について（有償での対応になります）

△ 取付けの際や取付け後の本体は、傷つかないように充分注意し施工願います。

鋼材の素地が見えるような深い傷が発生した場合には、塗装の補修をお勧めします。

その他の通常の小さな傷程度では製品の性能に何ら影響はございません。

保障について

当社は製品保証の生産賠償責任保険に加入しています。

ご不明な点はお気軽にお問合せください。

MAIL : info@nagomi-artsteel.com